

資料

地域医療構想をふまえた 松阪市民病院の在り方検討委員会

第4回 在り方検討委員会

2017年11月20日



まつ さか
松 阪 市

目次

これまでの在り方検討委員会の振り返り	P3
--------------------	----

これまでの在り方検討委員会の振り返り

第3回委員会 委員発言要旨(1/2)

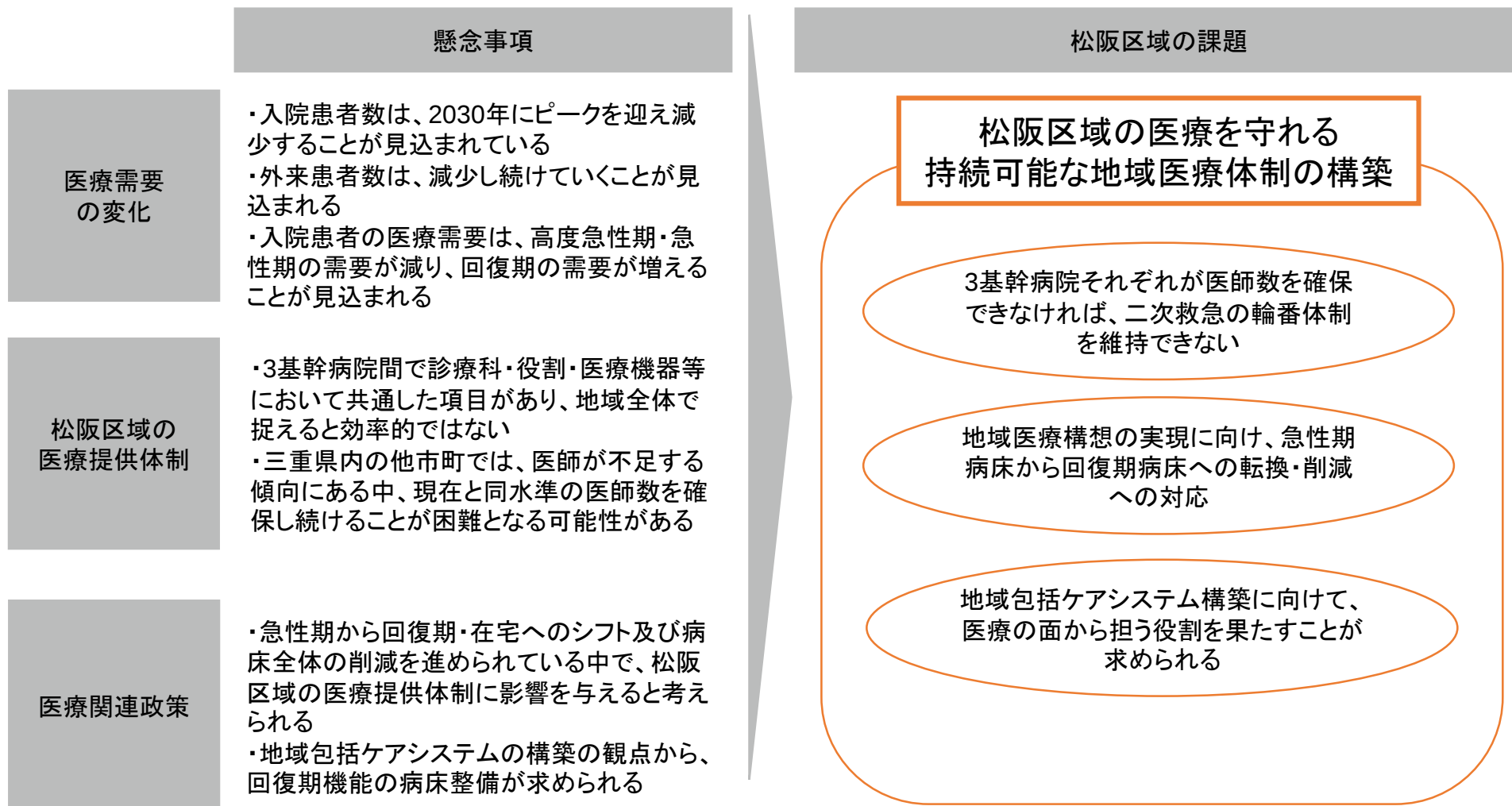
委員会の役割	国には地域医療構想や診療報酬改定等様々な方針があるが、明るい話が全くみえない。その中で松阪のこの地域で持続可能な医療をどう保証していくか、どう提供していくかということが、委員会に与えられた一番大きいテーマだと思う。
病床稼働率	かつては病床稼働率を上げようと思えば少し入院期間を長くすればよかったが、今は入院期間を長くすると重症度、医療・看護必要度が低くなり、病院の経営は不安定になってしまうのが現状である。
地域医療を維持することの重要性	人口減少社会において、医療をどうやって維持していくかという事と同時に、医療の縮小が人口減少に拍車をかけることになりかねない。この地域で医療に従事する方々の雇用をどのように守るかが、この地域経済にも影響してくるということを認識する必要があるのではないと思う。
医療資源の集約化	良い人材を集めて、高度な医療をやっていくという事を考えていかないと、良い医療というのはできない。小児医療や分娩のようにセンター化ができている診療科もある。外科のない急性期病院は成り立たないので、外科のセンター化はできない。松阪地区3病院で年間の手術件数は1,500件くらいあり、もし一つの病院で対応するならば日本でもトップの手術を行う病院となる。もう少し診療科をまとめられれば今いる人員がもっと活かされる。 それぞれの病院が連携して、得意な診療をメインにしたらどうかという意見があったが、3つの病院が競争しては、ありえない。それが可能であるならば、3つの病院がたった一つになって、それぞれセンター化するのであれば可能であろう。
市民にとっての市民病院	市民にとって市民病院は市の税金が投入されている。市民病院で働く職員は信頼でき、安心感がある。市民病院は無くならないように検討していただきたい。
雇用の確保	医師が減るという事は一緒に働いている医療技師や看護師も減るという事。今実際働いている従業員の雇用確保が一番重要である。

第3回委員会 委員発言要旨(2/2)

診療報酬改定の見込み	地域医療構想ができ、今までどおりの高度急性期・急性期の病床は認められなくなる。診療報酬改定で明らかに7対1を減らすための課題が突きつけられる。中小規模の病院はこれから大変になり、多くの自治体病院は潰れるんじゃないかというような言われ方をしている現状がある。
再編事例	合併した病院で成功している事例が山形県にある。山形県の酒田市立酒田病院と山形県立日本海総合病院が一緒になった事例だ。日本海総合病院はそれまでの機能を強化し急性期の度合いを強くして、酒田病院は回復期を中心に再編整備した。
基幹病院の再編の方向性について	基幹病院の中で、3強ということはありませんで、3すくみになっていく可能性が非常に強い。例えば入院患者数が1番目と2番目に多い病院同士が統合すると3番目の病院が駄目になる。1番目と3番目がくっついても2番目が厳しくなる。そうすると1強ではなく、ということになれば、例えば2番目3番目が連合するというような可能性の検討を一回していただいたらどうか。
地域包括ケアシステムの構築に向けて	地域包括ケアシステムの中では、地域包括ケア病棟のような回復期機能と在宅医療を担う診療所の医師との連携が病院には必要になってくる。地域包括ケア病棟を、在宅で急性期の疾患を患った場合に受け入れられるような病棟として使うべきだ、という意見もある。地域包括ケアシステムを実現するためには、市民病院をはじめ医療機関同士が連携、または密に協働していかなければいけない。
地域医療連携推進法人を活用した連携について	三重県地域医療構想に地域医療連携推進法人制度の活用を検討する旨の記載がある。日本海総合病院でも地域医療連携推進法人が現在検討されているが、連携システムが十分できており、そのうえで理事長が気が付く方で、指導力もあるという前提となったモデルになっている。2、3の病院がある中で地域医療連携推進法人という話になると、イニシアチブは誰が取るのかといった難しい問題が出てくる。この地域で地域医療連携推進法人という形での今後の連携は難しいのではないかと感じている。
他基幹病院への調査	再編は相手先のあることであるため、可能性があるのかも含めて次回までに調べてほしい。

松阪区域の医療を守るために、高度急性期・急性期の病床数の整理を図りつつ、入院患者の受入体制・救急医療の維持できる体制を構築することが課題となる

松阪区域の課題のまとめ



地域医療構想・地域包括ケアシステム構築に向けた政策が進められている中で、松阪区域の医療提供体制を協議することが本委員会の役割である

将来の松阪区域の医療提供体制イメージ

